

MA台本

平成28年12月6日

ふるさとに生きる

伝統に育まれた美しい国

―三重県編―

提出：ブラザーフッド

○宇治館町を歩く人々	00:01	N 三重県伊勢市宇治館町 (たちちよう)。
○伊勢神宮入り口の橋	00:05	N 日本人の心のふるさととも 呼ばれている伊勢神宮。 日本各地から日々多くの参拝客が 訪れます。
○橋の上から見える緑と 川		
○木立からパンダウン皇 大神宮	00:17	N 深い緑と静けさに包まれた空間は、 まさに神の宮(みや)に 相応しい出で立ちです。
○神嘗祭看板	00:27	N 10月17日。
○静々と歩みを進める祭 の行列	00:31	N 神嘗祭(かんなめさい)と呼ばれる 祭りが行われていました。
○皇大神宮に入っていく口 ング	00:39	N この神嘗祭は、その年に収穫された 新穀(しんこく)を、 天照大御神(あまてらすおおみかみ) に捧げ、自然の恵みに感謝をする お祭り。
○次々に歩く白装束の 人々	00:51	N この日も、多くの自然の恵みが 献上されました。
○英虞湾のロング	00:59	N 日本のほぼ中央に位置する 三重県は、豊かな自然に恵まれた 場所。
○海に飛び込む海女さん		
○真珠の養殖	01:07	N 宝庫な魚介類から真珠の養殖。

<p>○米作り</p> <p>○松阪牛</p> <p>○お茶作り</p> <p>○伊勢型紙作り</p> <p>○多度祭の一幕</p> <p>○御田植祭の一幕</p> <p>○四日市のコンビナート</p> <p>○棚田</p> <p>○英虞湾の美しい夕景</p> <p>○メインタイトル にっぽん農紀行 ふるさとに生きる 伝統に育まれた美し国 ―三重県―</p>	<p>01:14</p> <p>01:21</p> <p>01:28</p> <p>01:34</p> <p>01:41</p>	<p>N 米作りから 松阪牛(まつさかうし)の育成。</p> <p>N さらに豊かな味わいのお茶作り。</p> <p>N 受け継がれた伝統の技。</p> <p>N そして、古(いにしえ)より 脈々と続く、 行事や祭りの数々。</p> <p>N さらに、日本の今を支える コンビナートの力強い姿。</p> <p>三重県は、日本を形作る様々な 魅力に触れることができる場所、 「美し国(うましくに)」なのです。</p>
--	--	---